

インド太平洋経済枠組み—閣僚級会合(於:デトロイト)

貿易の柱、クリーン経済の柱及び公正な経済の柱に関する IPEF パートナープレスステートメント (仮訳)

2023年5月27日

IPEF パートナーは、本日、2022年5月の IPEF の成功裡の立上げを想起し、ミシガン州デトロイトにおいて閣僚級会合のために対面した。IPEF パートナーは、柱1、3及び4に関する閣僚級会合の要旨を以下のとおり発出した。

柱1(貿易)

アメリカ合衆国、オーストラリア、ブルネイ・ダルサラーム国、フィジー、インドネシア、日本、大韓民国、マレーシア、ニュージーランド、フィリピン、シンガポール、タイ及びベトナムは、我々の経済にとって力強い具体的な成果及び実益を実現するための取組を継続させるべく、交渉の現状及び今後の進め方について議論した。貿易の柱のパートナーは、ルールに基づく多国間貿易システムを踏まえた、ハイスタンドで、包摂的で、自由で、公正なかつ開かれた貿易に関するコミットメントの形成を追求するとコミットメントを確認した。IPEF パートナーは、広範な目標を推進し、経済活動に活力を与え、投資を創出し、強靱で、持続可能かつ包摂的な経済成長及び開発を促進し、及び労働者、消費者、先住民、現地の地域社会、女性及び中小零細企業(MSMEs)を含む企業に実益をもたらすような、貿易及び技術政策への新たな創造的アプローチを構築していく。IPEF パートナーの過去数か月にわたる集中的な交渉を通じ、貿易の柱全体で、高い野心のコミットメントに向けた交渉が前進した。貿易の柱パートナーは、経済発展の段階の差異及びキャパシティ上の制約を認識し、柔軟性を検討すること並びに適当な場合には技術支援及び能力構築を提供するためにパートナー同士で取り組むことにコミットしている。貿易の柱パートナーは、技術支援及び経済協力章のテキストに関して得られた相当な進展に留意した。

貿易の柱パートナーは、各々の市場において、労働者、企業及び人々の機会へのアクセスの拡大、IPEF パートナーの経済間での貿易及び投資フローの向上、スタンダードの強化並びに貿易障壁の低減に資する環境を共同で整備していくことを期待する。

柱3(クリーン経済)

アメリカ合衆国、オーストラリア、ブルネイ・ダルサラーム国、フィジー、インド、インドネシア、日本、大韓民国、マレーシア、ニュージーランド、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムは、交渉の現状について議論し、これまでの良好な進捗を歓迎した。IPEF パートナーは、交渉の範囲を定めた2022年9月の閣僚声明に基づき、それぞれの気候変動に係る目標を追求する方策を模索している。IPEF パートナーは、共に、クリーンエネルギー及び気候に優しい技術に関する研究、開発、商用化、入手可能性、アクセス性及び展開に係る協力を進め、地域における気候関連プロジェクトへの投資の促進を進めていく。IPEF パートナーは、政策や標準

を通じた市場の接続、エネルギーが持続可能で、強靱で、信頼でき、そして廉価であることの確保、低排出及びゼロ排出の物品及びサービスの促進を通じて、これらのことを実現する。IPEF パートナーは、これまで、クリーン経済への移行を加速するため、様々な革新的なアイデア及びアプローチを提示してきた。IPEF パートナーは、具体的な経済的成果をもたらすことの重要性を認識し、一方で開発ニーズを含む各 IPEF パートナー固有の異なる状況を認識しつつ、ネット・ゼロ排出経済への道筋を実現するために不可欠な主要分野での協力を推進するための取組及び提案を同時に特定し発展させている。

この精神において、関心を有する IPEF パートナーは、低炭素及び再生可能エネルギー由来の水素とその派生物の地域内での広範な展開を促進するために、域内水素イニシアティブを立ち上げる。これらの IPEF パートナーは、ネット・ゼロ排出経済へのそれぞれの道筋を描きつつ、新たな投資、産業化及び雇用機会を拡大し、イノベーションや生産性を促進する、官民両部門の専門的知見の活用を含む協力を期待する。他の IPEF パートナーは、準備が整い次第、このイニシアティブに参加することができる。IPEF パートナーは、働きがいのある人間らしい仕事、質の高い就労及び ILO 宣言に基づく労働者の権利の創出を通じた公正な移行を促進することを期待し、そして交渉が継続する中で今後の他の協力分野を探求することを期待する。IPEF パートナーは、当該協力を進めるため、今後の交渉会合においてハイスタンダードかつ相互に有益な成果を得るための努力を強化することにコミットしている。

柱4(公正な経済)

オーストラリア、ブルネイ・ダルサラーム国、フィジー、インド、インドネシア、日本、大韓民国、マレーシア、ニュージーランド、フィリピン、シンガポール、タイ、アメリカ合衆国及びベトナムは、交渉の現状について議論し、能力構築及び技術支援に関する協力の強化を通じたものを含め、腐敗防止措置及び税に関する取組を効果的に実施し、進捗を加速させるとの柱4の目的を達成するために得られたこれまでの進捗を歓迎した。IPEF パートナーは、IPEF エコノミー間の商業、貿易及び投資を促進するための効果的な腐敗防止及び税制措置の実施を強化する協定のテキスト作成に向けて前向きな進展を得た。また、ハイスタンダードかつ相互に有益な「公正な経済協定」の達成に向け、今後の交渉会合において一層努力することを期待している。